

from the world
世界の国から

ウガンダ共和国

Republic of Uganda



アブドゥル・カスレー氏

ウガンダ投資庁
ビジネス開発スペシャリスト

Mr. Abdul Kasule
Business Development Specialist
Uganda Investment Authority (UIA)
(Kampala, Uganda)

首都 カンバラ
面積 24.1万平方キロメートル(ほぼ本州大)
人口 3,166万人(2008年 世銀)
政体 共和制
元首 ヨウェリ・カグタ・ムセベニ大統領
言語 英語、スワヒリ語、ルガンダ語
通貨 ウガンダ・シリング



東アフリカの活力豊かな国



首都カンバラ(写真提供:和田篤志)

多様なビジネスチャンス

ウガンダはアフリカ東部に位置し、18歳未満の人口が全体の56%を占める活力豊かな国です。あらゆる産業で外国からの投資を受け入れています。特に日本に向いていると思われるのは農業、エネルギー開発、観光業、鉱業などです。

農業分野では、雨が多く肥沃な土地を利用して、生産性の高い有機栽培が行われています。特にオーガニック・コーヒーやオーガニック・コットン、各種フルーツ、バナナ、胡麻などの生産・加工・輸出に力を入れています。

現在、ウガンダ政府は地方への電力供給を増やすため、比較的小さな河川を利用した小型の水力発電の普及に取り組んでいます。設置する土地の自然条件に合わせて設計・



開発が進む油田(写真提供:UIA)

運用する必要があるため、技術力のある日本企業には大きなビジネスチャンスがある分野と言えます。

観光業も注目すべき分野の1つです。ウガンダにはさまざまな野生動物と手つかずの自然があり、欧米を中心に数多くの観光客を惹きつけています。ホテルやロッジの建設・運営、エコツーリズムなどが有望です。

鉱業分野では、近年発見され、埋蔵量が60億バレル以上とも言われる石油に注目が集まっていますが、その他にも金をはじめ、錫、タンゲステン、ベリリウム、コバルト、鉄鉱石などの鉱物資源にも恵まれており、今後の開発が期待されています。

魅力的な投資受け入れ環境

ウガンダは2000年以降、東アフリカでは最も高い、年平均7.7%の経済成長を達成しています。海外投資家にとってウガンダは完全な自由経済で、外資に対する規制もなく、政府は民間企業を手厚くサポートしています。また、

毎年1万5千人以上が大学を卒業するため、若くて優秀な人材の確保も難しくありません。

インフラの整備も進んでいます。ナイル川

の豊富な水量を利用したブジャガリ水力発電所は2012年初めに操業が開始される予定で、別の大規模水力発電所の計画も進行中です。

さらに、ウガンダ政府は経済発展の拠点としてビジネスパークの整備を進めています。ビジネスパークでは、電気、水道、通信ネットワーク、その他操業に必要なさまざまなインフラが提供されます。これにより、外国からの投資・企業進出がより活発となることでしょう。

日本とのビジネスに期待

今回は初めての来日で、2週間の滞在中に企業や各種団体・政府関係者と約25の面談を行なうなど、大変有意義な時間を過ごすことができました。ウガンダは政治的にもマクロ経済的にも安定した投資しやすい国です。また、治安はアフリカでもっとも良い国の1つと言われており、米や肉、魚介類、野菜などの食材が豊富で、日常生活での心配は殆どありません。東アフリカ市場へのアクセスが容易なウガンダに積極的に投資していただきたいと考えています。



野生のマウンテンゴリラ(写真提供:和田篤志)